

消費者に届け！旨味たっぷり完熟トマト（島田市）

R6.5.23訪問

▼農園名の由来となった
渡邊さんの愛犬「やまと」くん



お名前	やまと未来農園 渡邊 未来さん
就農した時期	2022年2月（就農3年目）
栽培品目	トマト（大玉・中玉・ミニ）
栽培面積	23a
販路	道の駅、JA直売所、外食店、無人販売所など
働き手	本人・パート4名



■ 就農したきっかけ

現在は活用されていない実家の小さな農地を再び活用できないかと考えたことから、農業に興味を持ち始めました。大学を卒業後、総合人材サービス会社に就職しましたが、社内コンペで一次産業の人材確保に関する企画に携わったことをきっかけに、農業について深く考えるようになりました。その後農業について学ぶために参加したテレビ局主催の農業塾を機に、(株)静岡アグリビジネス研究所の社長からお声がけいただき、同研究所へ転職しました。そこで4年間技術習得や経営戦略等を学び、2022年に独立就農しました。

■ 栽培方法について

(株)静岡アグリビジネス研究所では、オランダでいちごの育苗用ポットとして開発された「Dトレイ」（1枚に10個のポットが連結したトレイ）を用いたトマトの養液栽培の研究や普及を行っており、当園でも同様の栽培方式を採用しています。注入する培養液の量をコントロールし適度なストレスを与えることで、より旨味の詰まったおいしいトマトが育つよう日々試行錯誤しています。

■ 今後取り組みたいこと

将来的にはトマト以外の品目にも挑戦し、農園の規模拡大と法人化を考えています。農地は、災害などのリスク面からも現在の地域にこだわらず出身地の静岡市でも探していきたいです。実家の農地については、いずれは食育や観光農園などで活用できたらと思っています。

■ 新規就農を目指す方へメッセージ

自分自身、人材サービス会社から転職し一次産業に従事してみて、世の中にはたくさんの仕事がある中で「生きること」に直接関われる仕事は数少ないと感じました。時に悩むこともありますが、食べ物を自分の手で生み出し人々の生活の根幹を支える農業は、とてもやりがいのある仕事だと思います。